

# 報道資料

平成28年10月21日  
市町村振興課 尾崎・吉川  
内線(2254・2261)

## 平成27年度 県内市町村普通会計決算の概要

平成27年度の県内市町村の財政状況をお知らせします。

※今回の概要については、国の全国的な調査である「地方財政状況調査」の結果に基づき速報値としてとりまとめたものであり、数値については、今後変動する場合があります。

なお、国の全国集計の確定値をもとに、各市町村の財政指標や全国順位を、来年1月頃に確定版として公表する予定です。

※本資料の数値については、表示単位未満四捨五入の関係により、一致しない箇所があります。

### I 平成27年度県内市町村普通会計決算の全体像

#### 経常収支比率(市町村平均)は2年ぶりに低下し93.5%

別紙1

○2年ぶりに低下し、前年度と比較すると2.5ポイント低下。

○全国平均も1.3ポイント低下し、全国平均との差は縮小したものの依然として全国平均を上回っている。

○県内市町村の経常収支比率(市町村平均)改善のためには、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

#### 5年連続で県内全市町村が黒字決算

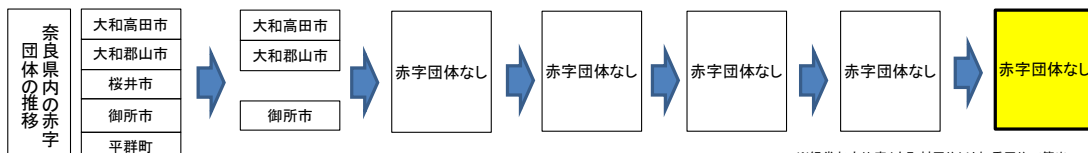
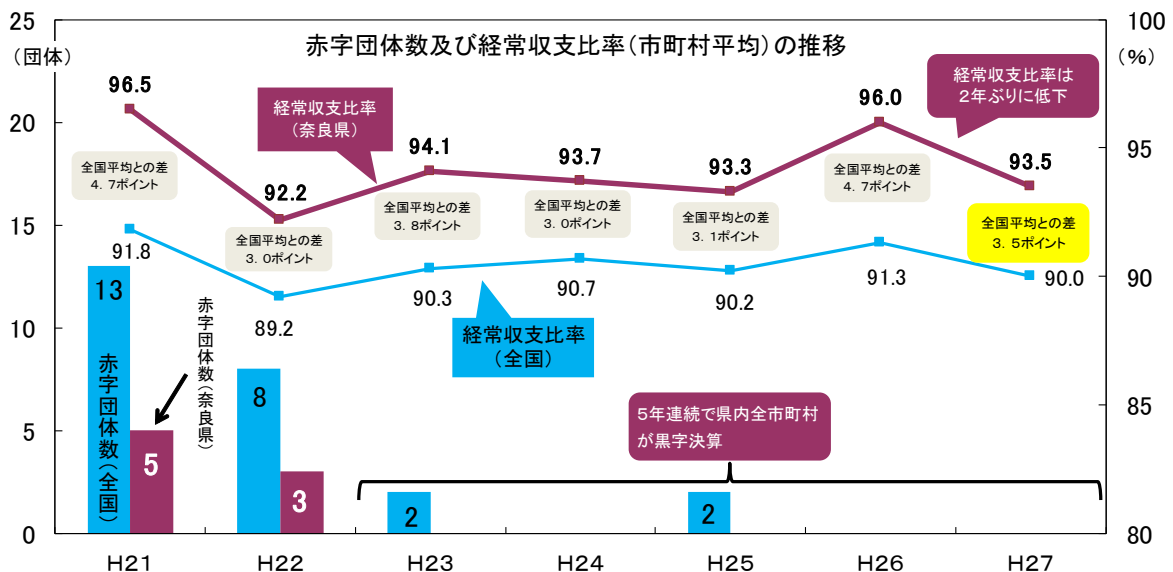
別紙2

○平成23年度に全団体が赤字決算から脱却。以降、平成27年度まで5年連続で全団体が黒字決算となった。

○県内各市町村の決算規模は別紙2のとおり。

※参考:平成27年度経常収支比率の段階別団体数

区分	80%未満	80%以上90%未満	90%以上100%未満	100%以上
全国	237 13.8%	966 56.2%	506 29.5%	9 0.5%
奈良県	5 12.8%	12 30.8%	22 56.4%	0 0.0%
うち県内市		生駒市、香芝市(2市、16.7%)	葛城市、五條市、大和高田市、橿原市、大和郡山市、宇陀市、奈良市、桜井市、天理市、御所市(10市、83.3%)	

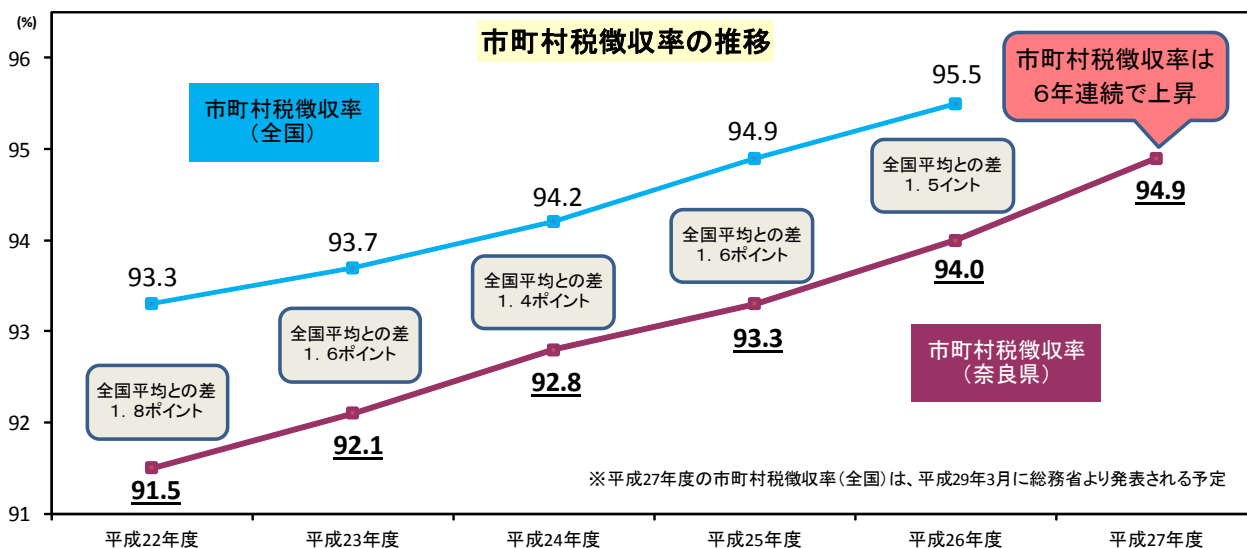


※経常収支比率(市町村平均)は加重平均で算出

## 市町村税徴収率(市町村平均)は6年連続で上昇し94.9%

別紙3

○6年連続で上昇し、前年度と比較すると0.9ポイント上昇。



## Ⅱ 平成27年度県内市町村普通会計決算(県内各市町村の状況)

### (1) 経常収支比率

#### ① 県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

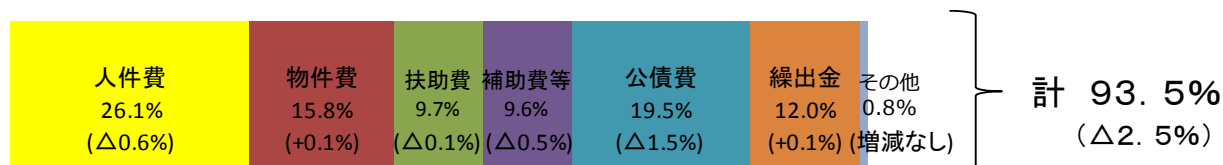
○前年度より低下した団体数は36、上昇した団体数は3。

○前年度と比較して低下した団体が多いのは、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等のうち地方消費税交付金や普通交付税などの増、分子を構成する経常的経費充当一般財源等のうち公債費などの減によるもの。

#### ② 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳とその対前年度増減

別紙5-1~3

○平成27年度の経常収支比率(市町村平均)は93.5%であるが、性質別では下記のように算出され、人件費と公債費で計45.6%と全体の約半分を占めている。



○県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別内訳は別紙5-2のとおり。

○前年度と比較すると、平成27年度に低下した要因は歳出面では公債費の減等の影響が大きい。

#### ③ 県内各市町村の経常収支比率の分布状況

別紙6-1

○全ての団体が100%未満となった。(前年度は桜井市、御所市、天理市の3団体が100%以上)

○経常収支比率85%未満の団体は前年度より7団体増加し、9団体となった。

#### ④ 県内各市町村の経常収支比率の分布状況(前年度比較)

別紙6-2

○36団体で低下し、特に曽爾村、川上村などが大きく低下。

### ⑤県内各市町村の経常収支比率の健康診断表

別紙 7

- 県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する22団体のうち、20団体が前年度よりも低下し、葛城市、河合町の2団体が前年度よりも上昇。
- 「健康」領域に属する17団体のうち、生駒市のみ前年度よりも上昇し、曾爾村など16団体が低下。

### ⑥県内各市・町・村別経常収支比率順位の推移

別紙 8-1~3

- 県内12市では、生駒市が平成26年度に引き続き、平成27年度においても1位となった。五條市は、公債費の減等により大きく順位上昇。
- 県内15町では、下市町が公債費の減等により、吉野町は補助費等の減等により、大きく順位上昇。平群町は物件費、人件費の増等により大きく順位低下。
- 県内12村では、曾爾村が公債費の減により大きく順位が上昇。下北山村は物件費、繰出金の増等により、十津川村は公債費、補助費等の増等により大きく順位低下。

### ⑦各市町村別・性質別経常収支比率の類似団体平均との比較

別紙 9-1~8

- 各団体の平成27年度性質別経常収支比率を、類似団体平均（平成26年度）と比較。
- 平成27年度経常収支比率が平成26年度類似団体平均を10ポイント以上上回っている団体数は12団体減少し黒滝村と河合町の2団体（前年度は14団体）。一方で下回っている団体数は11団体増加し13団体（前年度は生駒市と葛城市の2団体）。

### ⑧県内各市町村の自主財源比率

別紙 10

- 平成27年度の県内各市町村の自主財源比率は、別紙10のとおりで、生駒市が最も高く、56.8%。比率が50%を超えているのは、生駒市、王寺町の2団体。
- 市町村税徴収率の向上、受益者負担の適正化等により、引き続き自主財源確保に向け取り組むことが重要。

## （2）市町村税徴収率

### ①県内各市町村の市町村税徴収率の対前年度比較

別紙 11

- 徴収率が前年度より上昇した団体数は29、低下した団体数は8、前年度と変動なしが2団体。
- 川上村、奈良市、安堵町が大きく上昇。

### ②県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス

別紙 12

- 県内各市町村の市町村税徴収率を、現年課税分徴収率と滞納繰越分徴収率の対前年度増減で区分し整理。
- 現年課税分徴収率が前年度より上昇した団体は30団体で、このうち滞納繰越分徴収率が前年度より上昇した団体は奈良市など15団体、前年度より低下した団体は大和高田市など15団体。
- 現年課税分徴収率が前年度より低下した団体は9団体で、このうち滞納繰越分徴収率が前年度より上昇した団体は下北山村など3団体、前年度より低下した団体は香芝市など6団体。

### ③県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況

別紙 13

- 市町村税徴収率94%以上の団体は前年度より5団体増加し、奈良市など30団体。
- 一方、市町村税徴収率94%未満の団体は前年度より5団体減少し、大和高田市など9団体。

#### ④県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表

別紙 14

- 県内各市町村の平成27年度市町村税徴収率を類似団体平均徴収率（平成26年度）を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する6団体のうち、曾爾村など4団体が前年度よりも低下し、大和高田市など2団体が前年度よりも上昇。
- 「健康」領域に属する33団体のうち、御杖村など4団体が前年度よりも低下し、川上村など27団体が前年度よりも上昇。河合町及び十津川村の2団体は変動なし。

#### ⑤県内各市・町・村別市町村税徴収率順位の推移

別紙 15-1~3

- 市では桜井市が5年連続1位。御所市、生駒市が同率で最下位。現年課税分・滞納繰越分ともに徴収率が改善した奈良市、宇陀市は順位上昇。
- 町では三宅町が2年連続で1位。三郷町が3年連続で最下位。
- 村では下北山村が5年連続で1位。天川村が最下位。明日香村は現年課税分・滞納繰越分ともに徴収率が改善し順位上昇。川上村は現年課税分徴収率が改善し順位上昇。

### Ⅲ 市町村財政の更なる健全化に向けた県の支援

- 県は、当面の目標としている経常収支比率（市町村平均）全国ワースト10位からの脱却をできるだけ早期に達成できるよう、財政健全化に向けた市町村支援のための取組を積極的に推進。

- 平成26年度は、公債費負担の軽減のため「奈良県市町村財政健全化支援事業」を実施し、既発行の高金利地方債の繰上償還を支援。

- ・貸付金：奈良市など22市町村へ貸付
- ・補助：大和高田市など25市町村へ補助
- ・平成26年度執行額計：4,648,500千円

- 平成27年度は、「奈良県市町村公営企業財政健全化支援事業」を実施し、市町村公営企業が有する高金利地方債の繰上償還に対し市町村が支援する際に必要となる経費への貸付及び補助を実施。

- ・貸付金：大和郡山市など10市町村へ貸付
- ・補助：大和郡山市など13市町村へ補助
- ・平成27年度執行額計：987,400千円

- また、平成28年度には市町村における資金調達力の強化に向け、金融リテラシー向上のための研修会を開催するとともに、複数市町村による共同資金調達フレームを検討・構築する「市町村共同資金調達支援事業」、県とモデル市町村が実行委員会を組織し、市町村税の現年度課税分の滞納者に対し、電話による納付の呼びかけを行う市町村税納税促進コールセンターをモデル的に設置する「市町村税徴収確保強化事業」を新たに実施することとしている。

# 県内各市町村の経常収支比率

別紙1

○経常収支比率(市町村平均)は2年ぶりに低下し、前年度と比較すると2.5ポイント低下。  
 ○低下の主な要因は、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等のうち地方消費税交付金や普通交付税などの増、分子を構成する経常的経費充当一般財源等のうち公債費などの減。  
 ○全国平均も1.3ポイント低下し、全国平均との差は縮小したものの依然として全国平均を上回っている。

(単位:%)

健康状態	27年度				26年度		
	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(A)	対前年度改善ポイント(A-B)	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(B)
要治療 全国平均以上	1 ↑	御所市	99.6	▲ 4.6	1	桜井市	104.5
	1 ↑	河合町	99.6	0.6	2	御所市	104.2
	3 →	天理市	99.4	▲ 2.4	3	天理市	101.8
	4 ↓	桜井市	99.1	▲ 5.4	4	広陵町	99.6
	5 →	奈良市	97.0	▲ 2.0	5	奈良市	99.0
	6 ↑	黒滝村	95.7	▲ 0.8	5	河合町	99.0
	7 ↑	宇陀市	95.1	▲ 2.0	7	下市町	98.9
	8 →	大和郡山市	95.0	▲ 3.2	8	大和郡山市	98.2
	9 ↑	橿原市	94.5	▲ 1.4	8	吉野町	98.2
	10 ↑	大和高田市	94.4	▲ 0.5	10	斑鳩町	98.0
	11 ↓	斑鳩町	94.2	▲ 3.8	11	五條市	97.5
	12 ↑	平群町	93.6	▲ 0.8	12	明日香村	97.2
	13 ↓	上牧町	93.2	▲ 4.0	12	上牧町	97.2
	13 ↓	広陵町	93.2	▲ 6.4	14	宇陀市	97.1
	15 ↓	吉野町	93.0	▲ 5.2	15	黒滝村	96.5
	16 ↓	五條市	92.8	▲ 4.7	16	橿原市	95.9
	17 ↓	下市町	92.3	▲ 6.6	17	大和高田市	94.9
	18 →	王寺町	92.0	▲ 2.4	18	平群町	94.4
	19 ↓	明日香村	91.9	▲ 5.3	18	王寺町	94.4
	20 ↑	田原本町	91.6	▲ 1.4	20	東吉野村	94.3
	21 ↑	野迫川村	90.8	▲ 1.5	21	高取町	93.5
	22 ↑	葛城市	90.6	2.2	22	田原本町	93.0
健康 全国平均未満	23 ↑	香芝市	88.8	▲ 3.0	23	野迫川村	92.3
	23 ↑	安堵町	88.8	▲ 2.9	24	香芝市	91.8
	25 ↓	高取町	88.7	▲ 4.8	25	安堵町	91.7
	26 ↑	生駒市	88.1	1.9	26	曾爾村	91.3
	27 →	大淀町	87.6	▲ 3.4	27	大淀町	91.0
	28 ↑	十津川村	85.6	▲ 1.2	28	三宅町	90.6
	28 ↓	東吉野村	85.6	▲ 8.7	29	御杖村	89.6
	30 ↑	三郷町	85.1	▲ 2.1	29	天川村	89.6
	31 ↓	御杖村	84.2	▲ 5.4	31	葛城市	88.4
	32 ↑	川西町	83.8	▲ 3.6	32	山添村	87.6
	33 ↓	天川村	83.2	▲ 6.4	33	川西町	87.4
	34 ↓	三宅町	82.8	▲ 7.8	34	三郷町	87.2
	35 ↑	下北山村	79.9	▲ 3.4	35	十津川村	86.8
	36 ↓	山添村	79.8	▲ 7.8	36	生駒市	86.2
	37 ↑	上北山村	77.1	▲ 7.1	37	川上村	85.3
	38 ↓	曾爾村	75.8	▲ 15.5	38	上北山村	84.2
	39 ↓	川上村	73.4	▲ 11.9	39	下北山村	83.3
		<b>県平均</b>	<b>93.5</b>	<b>▲ 2.5</b>		<b>県平均</b>	<b>96.0</b>
		<b>全国平均</b>	<b>90.0</b>	<b>▲ 1.3</b>		<b>全国平均</b>	<b>91.3</b>

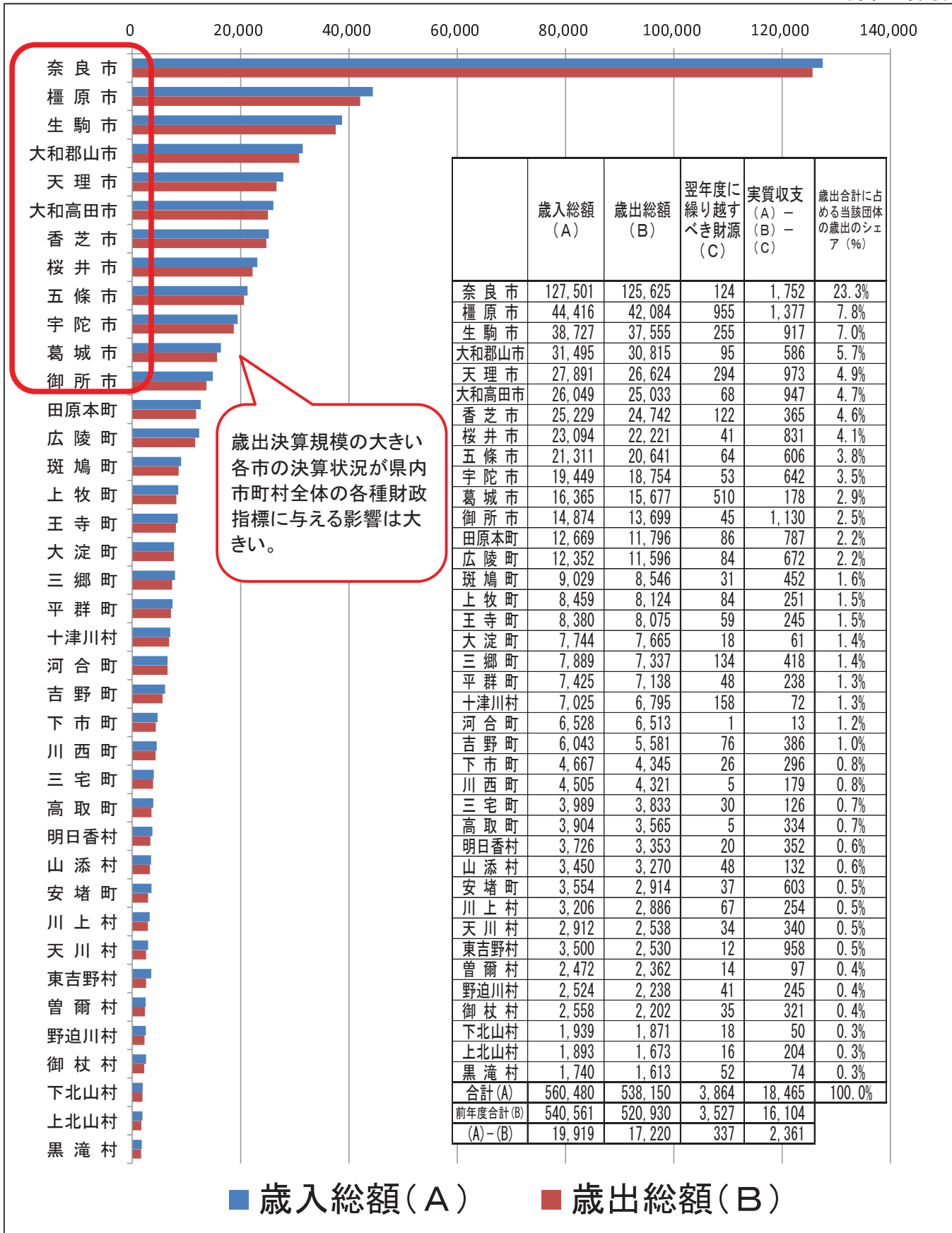
(注) 経常収支比率の平均は加重平均で算出。なお、全国平均には特別区は含まれていません。

# 県内各市町村の平成27年度決算規模

別紙2

○歳入総額は5,605億円となり、前年度を199億円上回った。  
 ○歳出総額は5,382億円となり、前年度を172億円上回った。  
 ○歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計のおよそ1/4を占める奈良市をはじめ、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

(単位：百万円)



歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きい。

# 県内各市町村の市町村税徴収率の推移

別紙3

(単位：%)

平成23年度 [全国：30位]		平成24年度 [全国：28位]		平成25年度 [全国：31位]		平成26年度 [全国：32位]		平成27年度 [全国：-位]	
下北山村	98.8	王寺町	98.5	王寺町	98.8	三宅町	99.1	三宅町	99.2
山添村	98.4	下北山村	98.4	三宅町	98.6	王寺町	98.9	王寺町	99.1
王寺町	98.4	山添村	98.2	山添村	98.1	下北山村	98.3	下北山村	98.7
上北山村	98.3	上北山村	98.1	下北山村	98.1	上北山村	98.1	明日香村	98.5
明日香村	97.8	三宅町	98.0	上北山村	98.1	山添村	98.0	桜井市	98.3
黒滝村	96.8	黒滝村	97.5	黒滝村	97.9	黒滝村	97.9	平群町	98.1
三宅町	96.5	明日香村	97.3	平群町	97.4	平群町	97.7	黒滝村	98.0
川上村	96.1	平群町	96.8	明日香村	97.1	明日香村	97.6	川上村	97.9
斑鳩町	95.5	川西町	96.0	桜井市	96.8	桜井市	97.5	上北山村	97.7
川西町	95.3	川上村	95.8	川西町	96.2	広陵町	96.8	山添村	97.5
河合町	95.2	斑鳩町	95.6	広陵町	96.2	川西町	96.6	川西町	97.2
十津川村	95.0	桜井市	95.5	東吉野村	96.2	東吉野村	96.3	広陵町	97.2
広陵町	94.6	河合町	95.3	斑鳩町	96.0	斑鳩町	96.1	斑鳩町	96.8
高取町	94.2	広陵町	95.2	川上村	95.8	川上村	95.5	東吉野村	96.8
桜井市	94.0	東吉野村	94.9	河合町	95.4	吉野町	95.5	五條市	95.8
全国平均	93.7	十津川村	94.2	高取町	95.0	全国平均	95.5	田原本町	95.8
吉野町	93.6	全国平均	94.2	吉野町	94.9	河合町	95.3	吉野町	95.6
東吉野村	93.6	高取町	94.1	全国平均	94.9	田原本町	95.3	香芝市	95.4
野迫川村	93.4	吉野町	94.0	御杖村	94.7	香芝市	94.9	河合町	95.3
大和郡山市	93.3	大和郡山市	93.2	十津川村	94.5	御杖村	94.8	奈良市	95.1
葛城市	93.2	橿原市	93.2	五條市	94.1	五條市	94.7	下市町	95.1
橿原市	93.0	葛城市	93.2	田原本町	94.1	十津川村	94.4	安堵町	95.0
香芝市	92.7	御杖村	93.2	天川村	94.0	高取町	94.4	県平均	94.9
御杖村	92.5	香芝市	93.1	橿原市	93.7	曾爾村	94.3	橿原市	94.7
五條市	92.3	田原本町	93.1	香芝市	93.7	天川村	94.2	御杖村	94.7
天川村	92.3	五條市	92.9	大和郡山市	93.4	橿原市	94.2	大淀町	94.5
県平均	92.1	曾爾村	92.9	葛城市	93.3	県平均	94.0	十津川村	94.4
田原本町	92.1	県平均	92.8	県平均	93.3	葛城市	93.7	曾爾村	94.2
曾爾村	92.0	御所市	92.6	曾爾村	93.2	大和郡山市	93.7	宇陀市	94.1
御所市	91.6	奈良市	92.2	御所市	92.8	下市町	93.6	高取町	94.1
天理市	91.4	野迫川村	92.2	奈良市	92.7	安堵町	93.4	天理市	94.0
奈良市	91.3	大淀町	92.0	大淀町	92.6	奈良市	93.3	大和郡山市	93.9
大和高田市	91.2	天川村	91.9	天理市	92.1	大淀町	93.2	葛城市	93.9
大淀町	91.0	天理市	91.8	大和高田市	91.9	大和高田市	93.1	大和高田市	93.8
上牧町	90.9	安堵町	91.5	生駒市	91.9	天理市	92.9	御所市	93.5
生駒市	90.7	上牧町	91.5	野迫川村	91.9	生駒市	92.8	生駒市	93.5
安堵町	90.6	大和高田市	91.4	宇陀市	91.8	宇陀市	92.7	上牧町	91.3
三郷町	90.4	生駒市	91.4	安堵町	91.5	御所市	92.7	野迫川村	90.8
宇陀市	90.2	宇陀市	91.1	下市町	90.9	上牧町	91.8	天川村	90.6
下市町	89.5	三郷町	90.1	上牧町	90.8	野迫川村	91.7	三郷町	90.1
平群町	86.0	下市町	88.8	三郷町	89.7	三郷町	90.0	全国平均	-

※平成27年度の市町村税徴収率（全国）平均は、平成29年3月に総務省より発表される予定

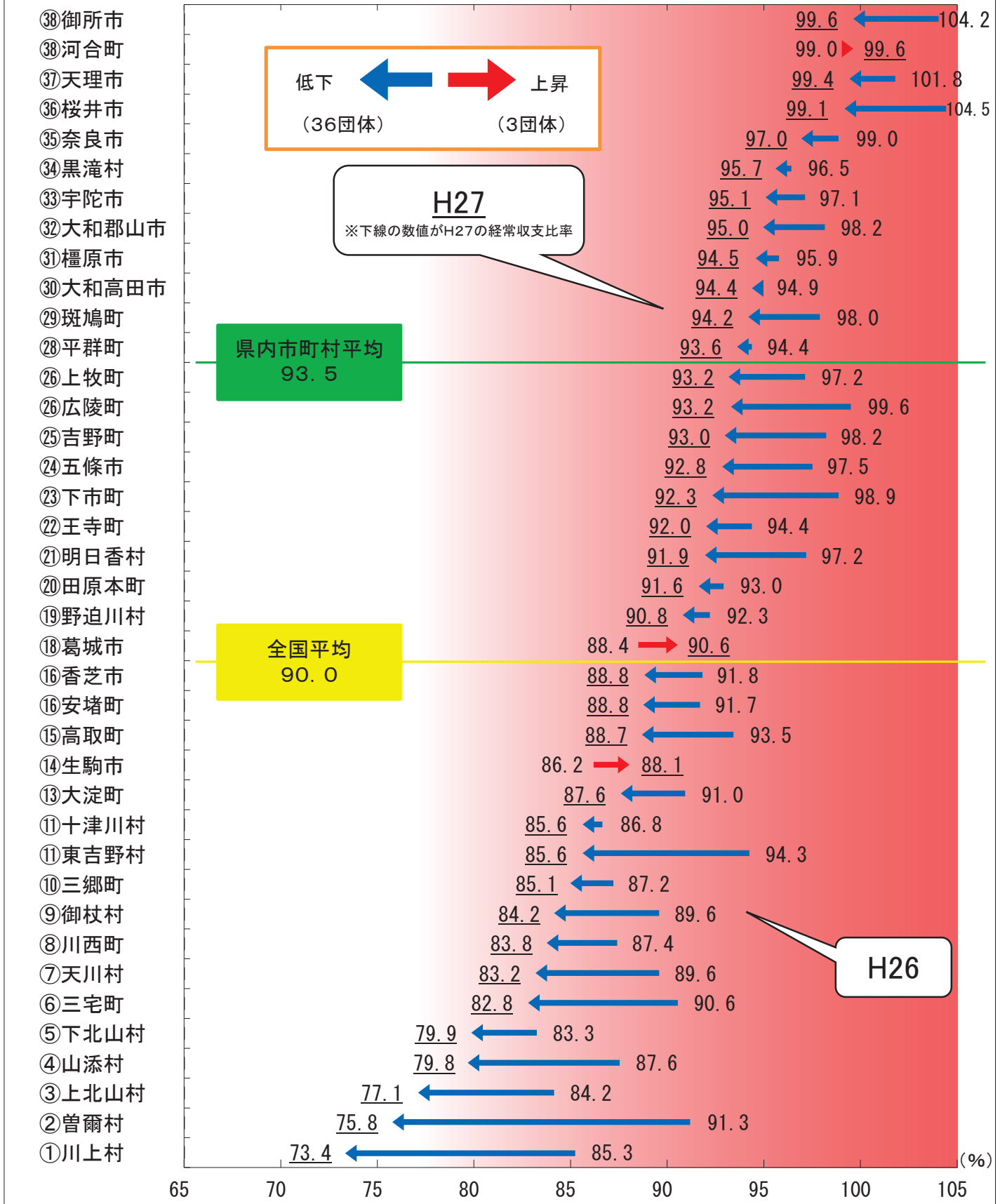
# 県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

○前年度より低下した団体数は36、上昇した団体数は3。  
 ○前年度と比較して低下した団体が多いのは、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等のうち地方消費税交付金や普通交付税などの増、分子を構成する経常的経費充当一般財源等のうち公債費などの減によるもの。



※○内の数字は、県内順位



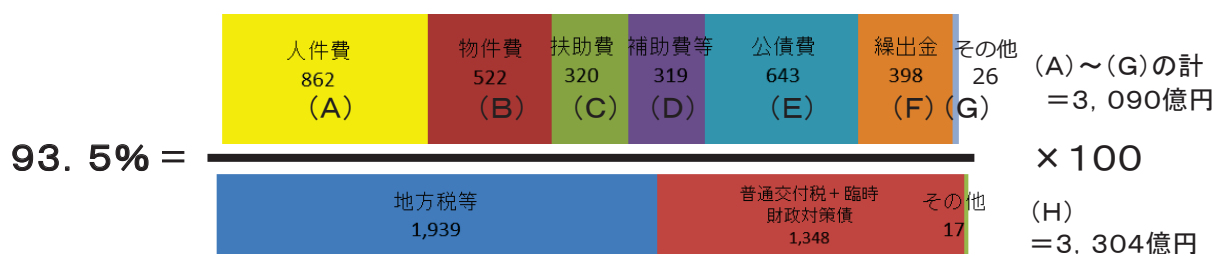


経常収支比率とは、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合のことで、下記により算出。

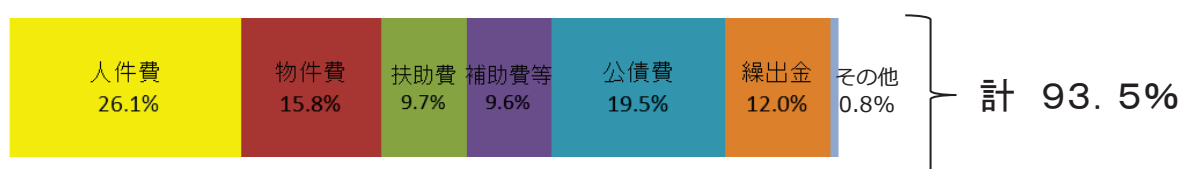
$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源(地方税+普通交付税等) + 減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$$

平成27年度の経常収支比率(県内市町村平均)は以下のとおり算出。

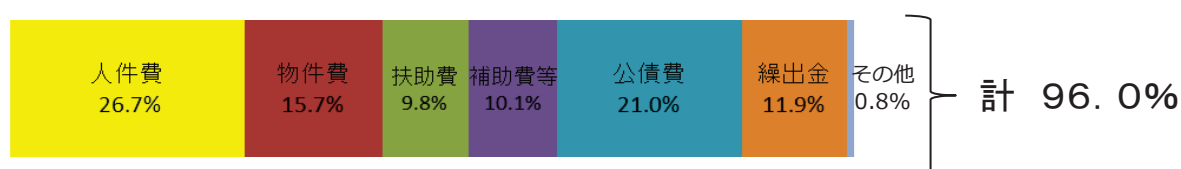
(単位:億円)



平成27年度の経常収支比率(市町村平均)は93.5%で、上記(A)~(G)それぞれを(H)で割ると、それぞれの性質毎の経費にかかる経常収支比率が算出。



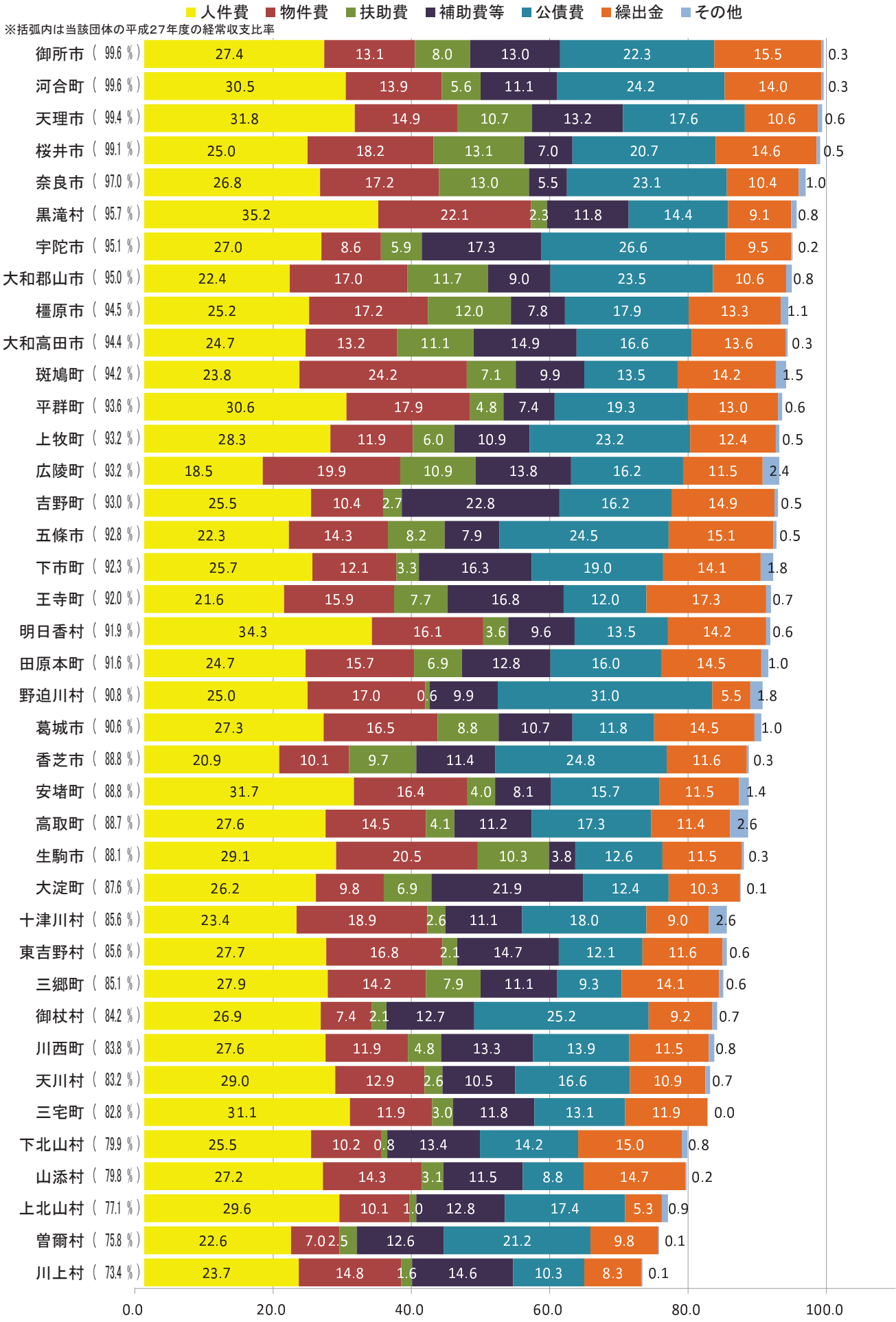
一方、平成26年度決算では、以下のとおり。



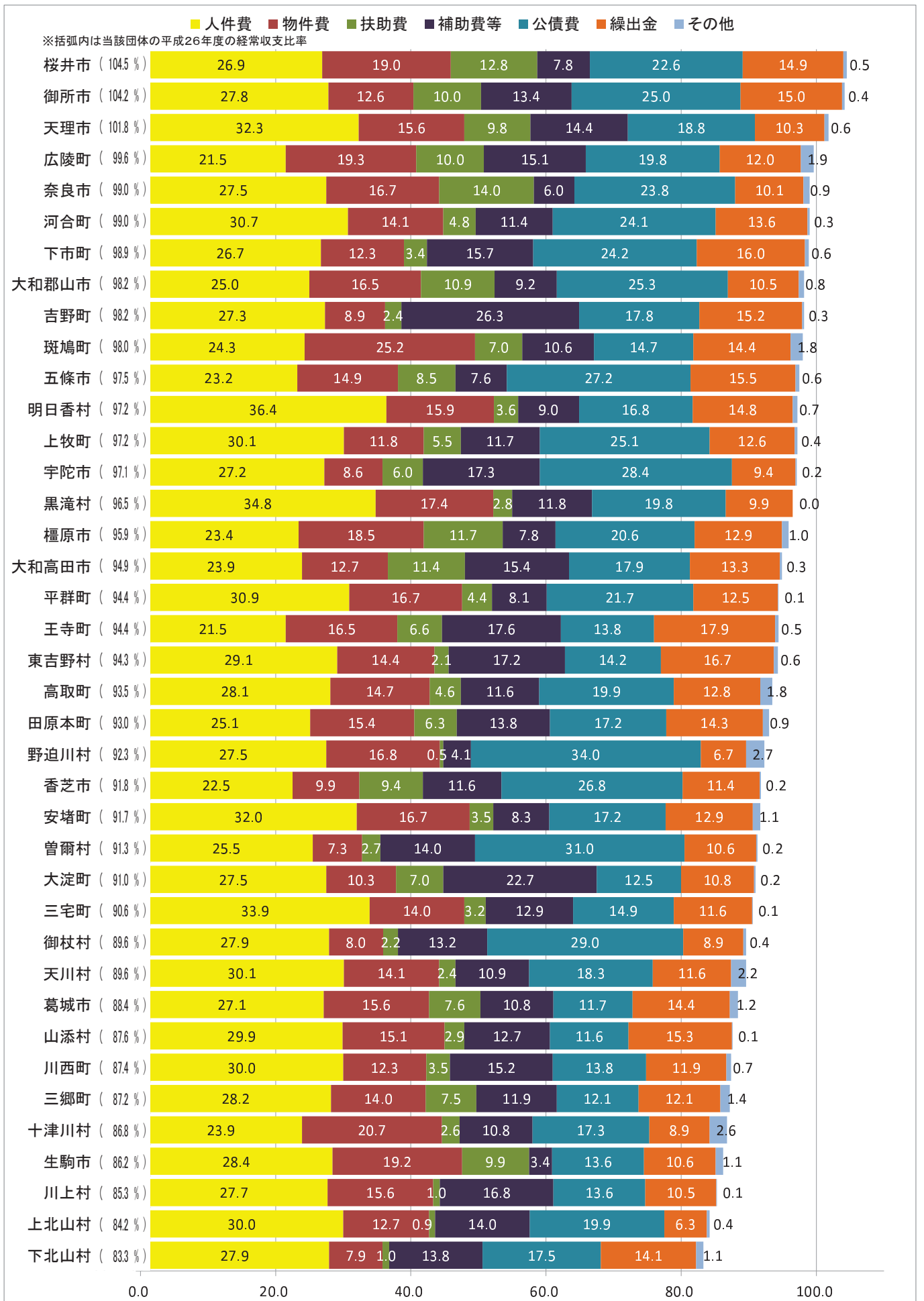
前年度と比較した平成27年度の経常収支比率(市町村平均)低下の主な要因は、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等のうち地方消費税交付金や普通交付税などの増、分子を構成する経常的経費充当一般財源等のうち公債費などの減。

県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳は **別紙5-2** のとおり。

# 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳

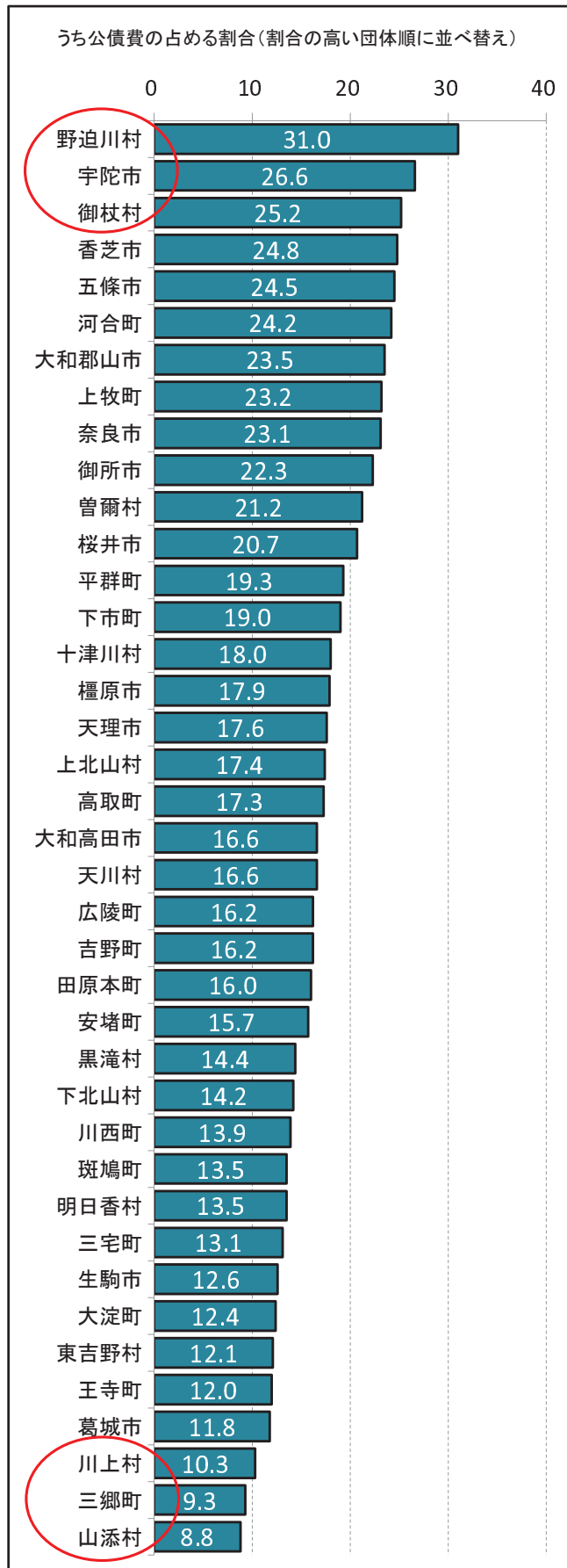
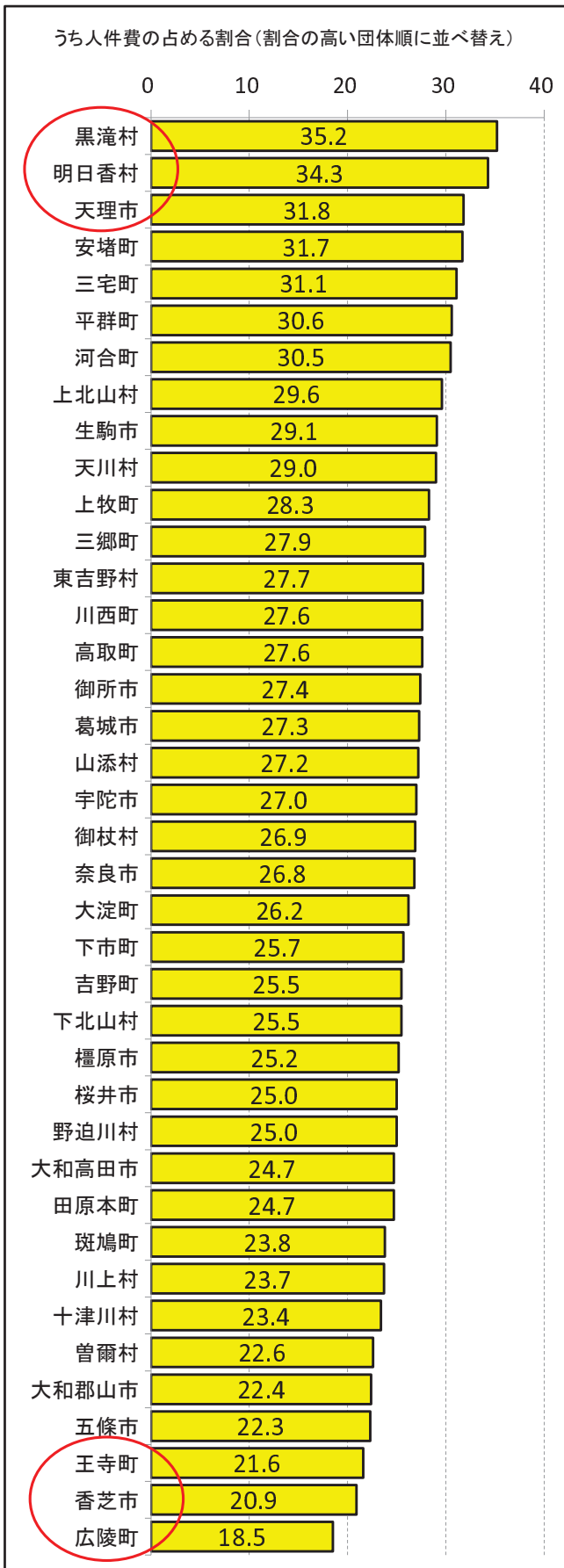


# (参考H26) 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳



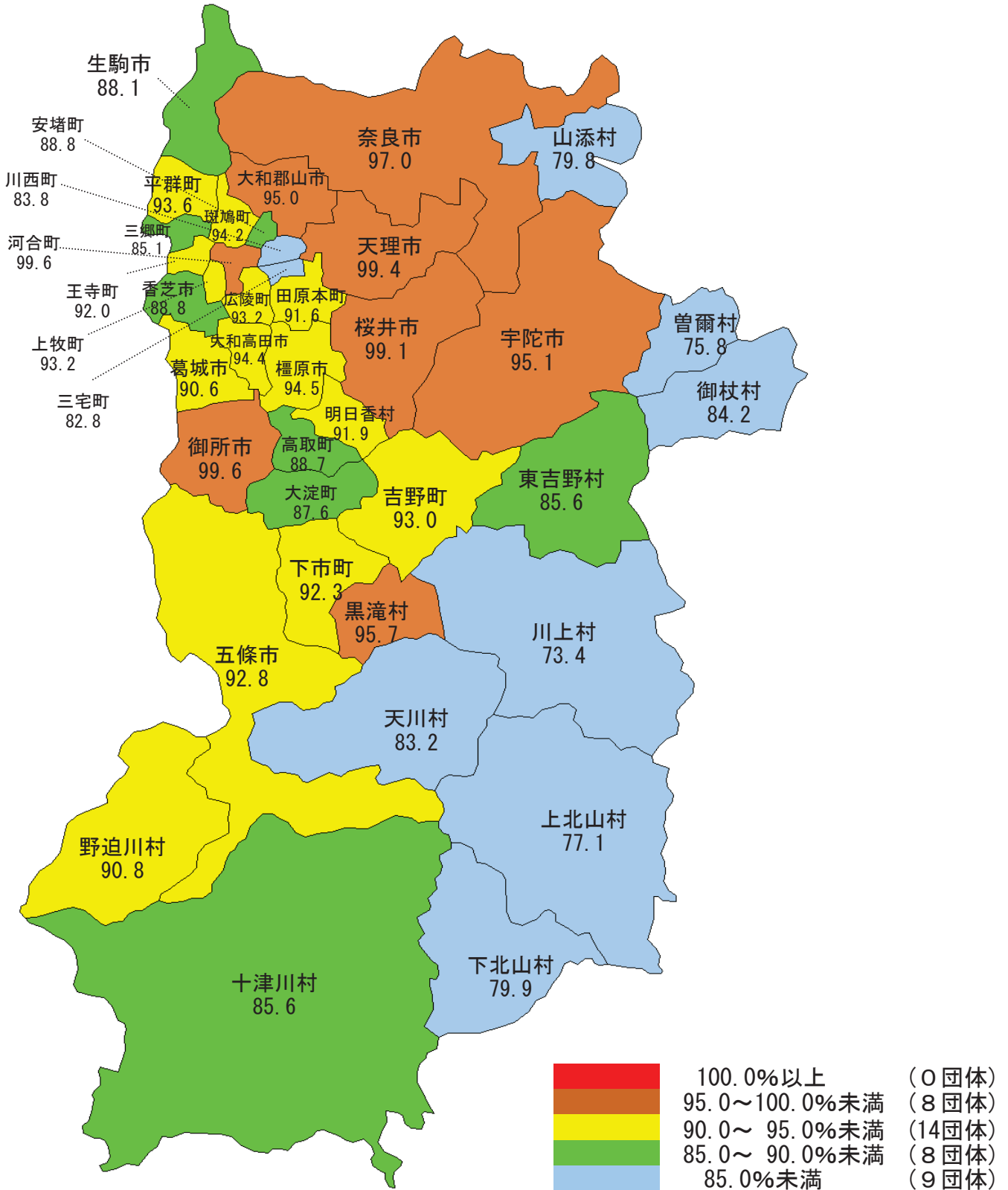
県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳(うち人件費、公債費の占める割合)

○平成27年度の経常収支比率に占める人件費の割合が高い団体は、黒滝村、明日香村、天理市などで、低い団体は広陵町、香芝市、王寺町など。  
 ○平成27年度の経常収支比率に占める公債費の割合が高い団体は、野迫川村、宇陀市、御杖村などで、低い団体は山添村、三郷町、川上村など。



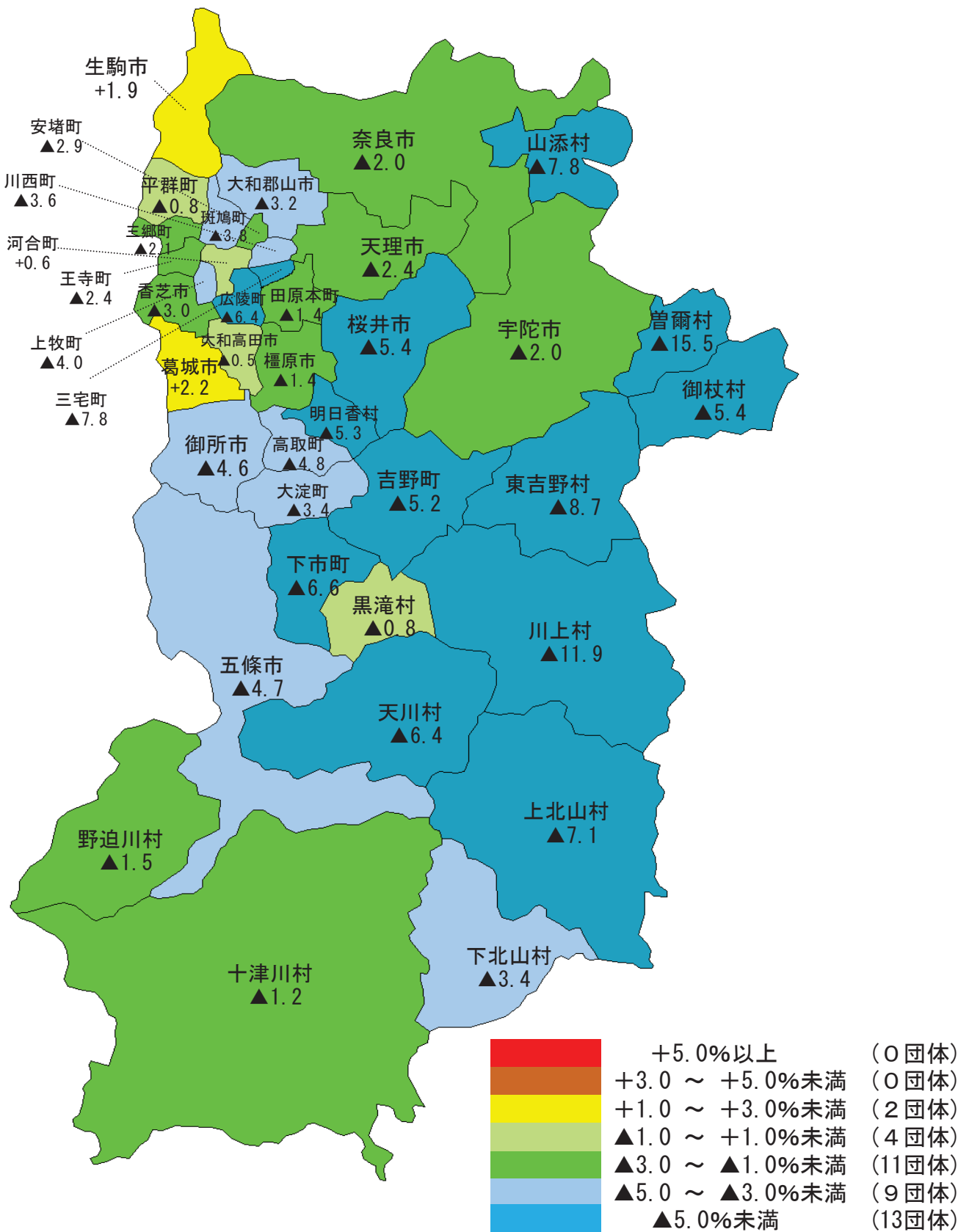
## 県内各市町村の経常収支比率の分布状況

○全ての団体が100%未満となった。(前年度は桜井市、御所市、天理市の3団体が100%以上)  
 ○経常収支比率85%未満の団体は前年度より7団体増加し、9団体となった。



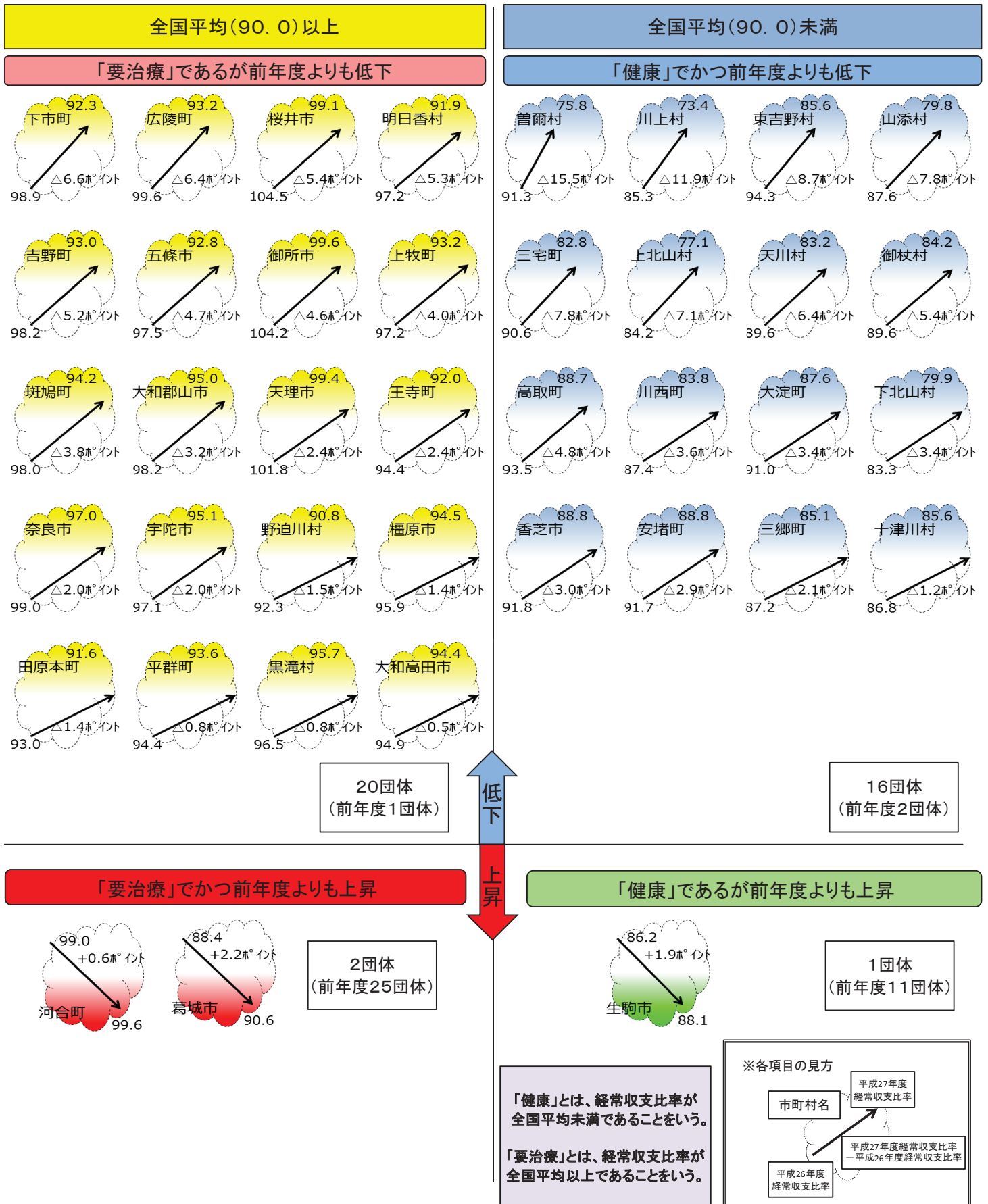
県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）

○平成27年度は、36団体で低下し、特に、曾爾村、川上村などが大きく低下。



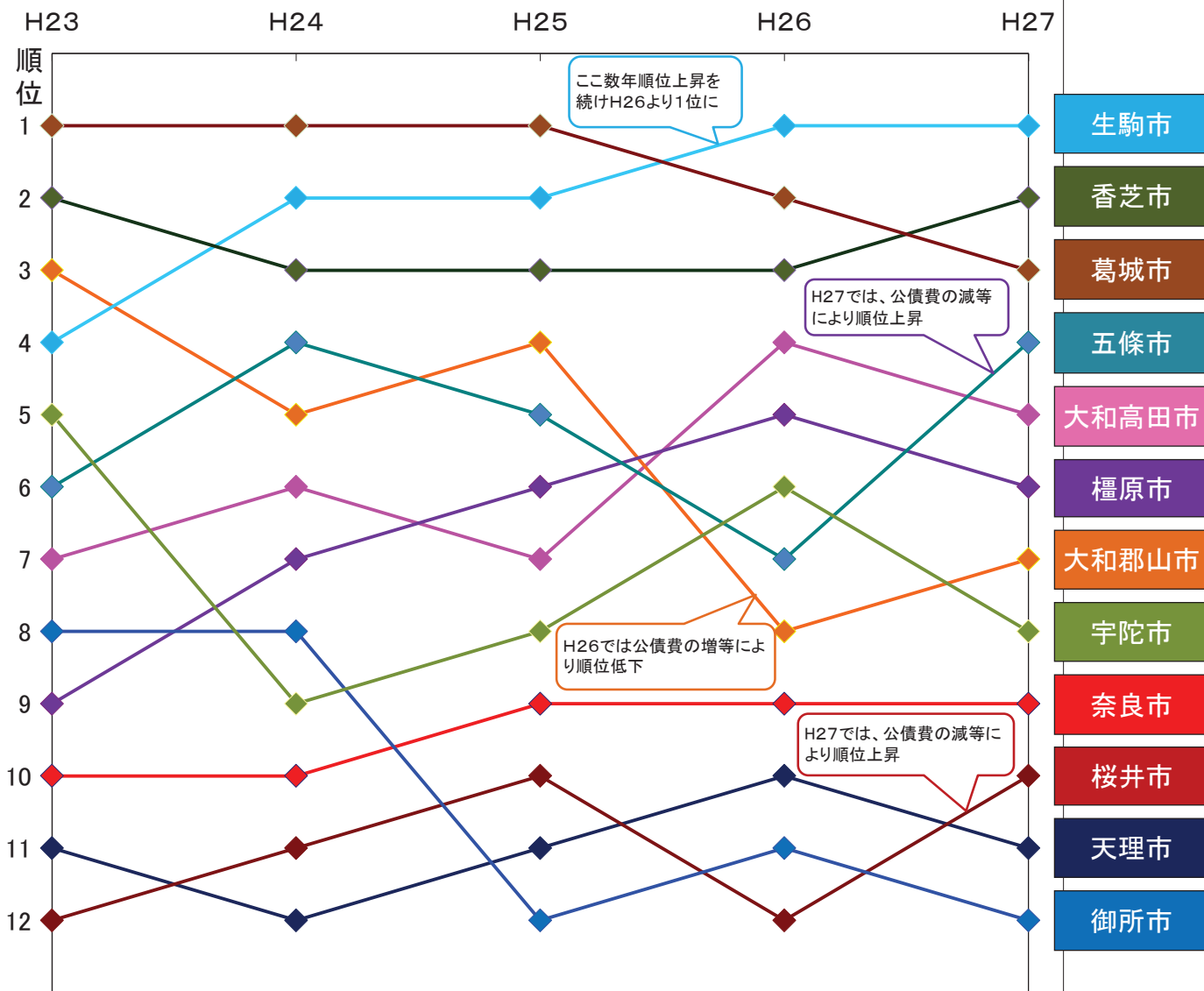
# 県内各市町村の経常収支比率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

○県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。  
 ○「要治療」領域に属する22団体のうち、20団体が前年度よりも低下し、葛城市、河合町の2団体が前年度よりも上昇。  
 ○「健康」領域に属する17団体のうち、曽爾村など16団体が低下し、生駒市のみ前年度よりも上昇。



県内12市の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

○県内12市では、生駒市が平成26年度に引き続き、平成27年度においても1位となった。  
○五條市は、公債費の減等により大きく順位上昇。

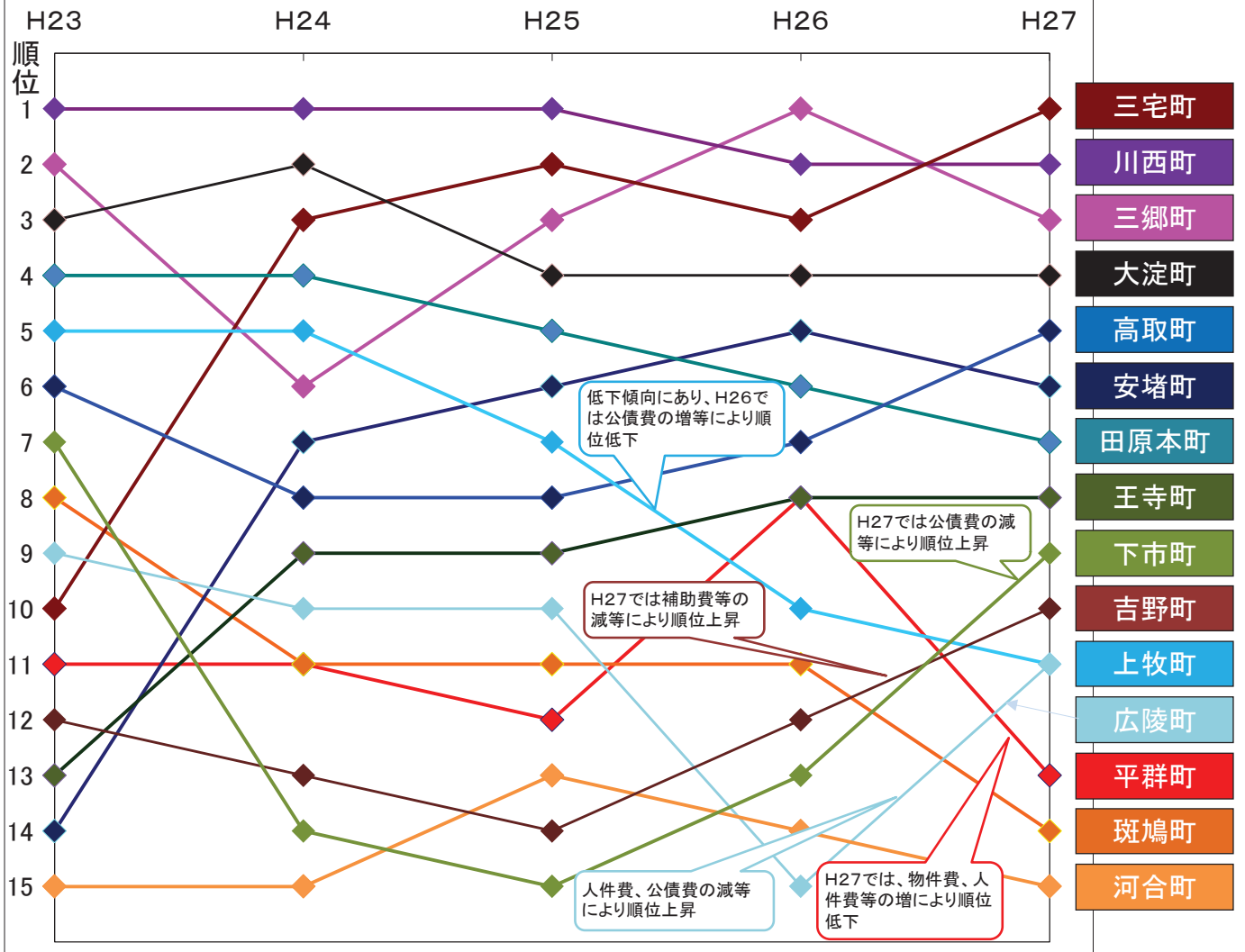


団体名	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位	H27	順位
奈良市	98.9	10	97.6	10	97.5	9	99.0	9	97.0	9
大和高田市	95.1	7	94.8	6	93.9	7	94.9	4	94.4	5
大和郡山市	91.0	3	92.1	5	91.0	4	98.2	8	95.0	7
天理市	99.6	11	100.5	12	100.6	11	101.8	10	99.4	11
橿原市	96.1	9	95.5	7	93.8	6	95.9	5	94.5	6
桜井市	99.7	12	98.8	11	98.7	10	104.5	12	99.1	10
五條市	93.2	6	91.7	4	93.4	5	97.5	7	92.8	4
御所市	95.3	8	96.0	8	101.3	12	104.2	11	99.6	12
生駒市	92.4	4	89.2	2	85.8	2	86.2	1	88.1	1
香芝市	89.0	2	89.7	3	87.7	3	91.8	3	88.8	2
葛城市	82.2	1	86.1	1	85.7	1	88.4	2	90.6	3
宇陀市	92.8	5	96.5	9	94.2	8	97.1	6	95.1	8



県内15町の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

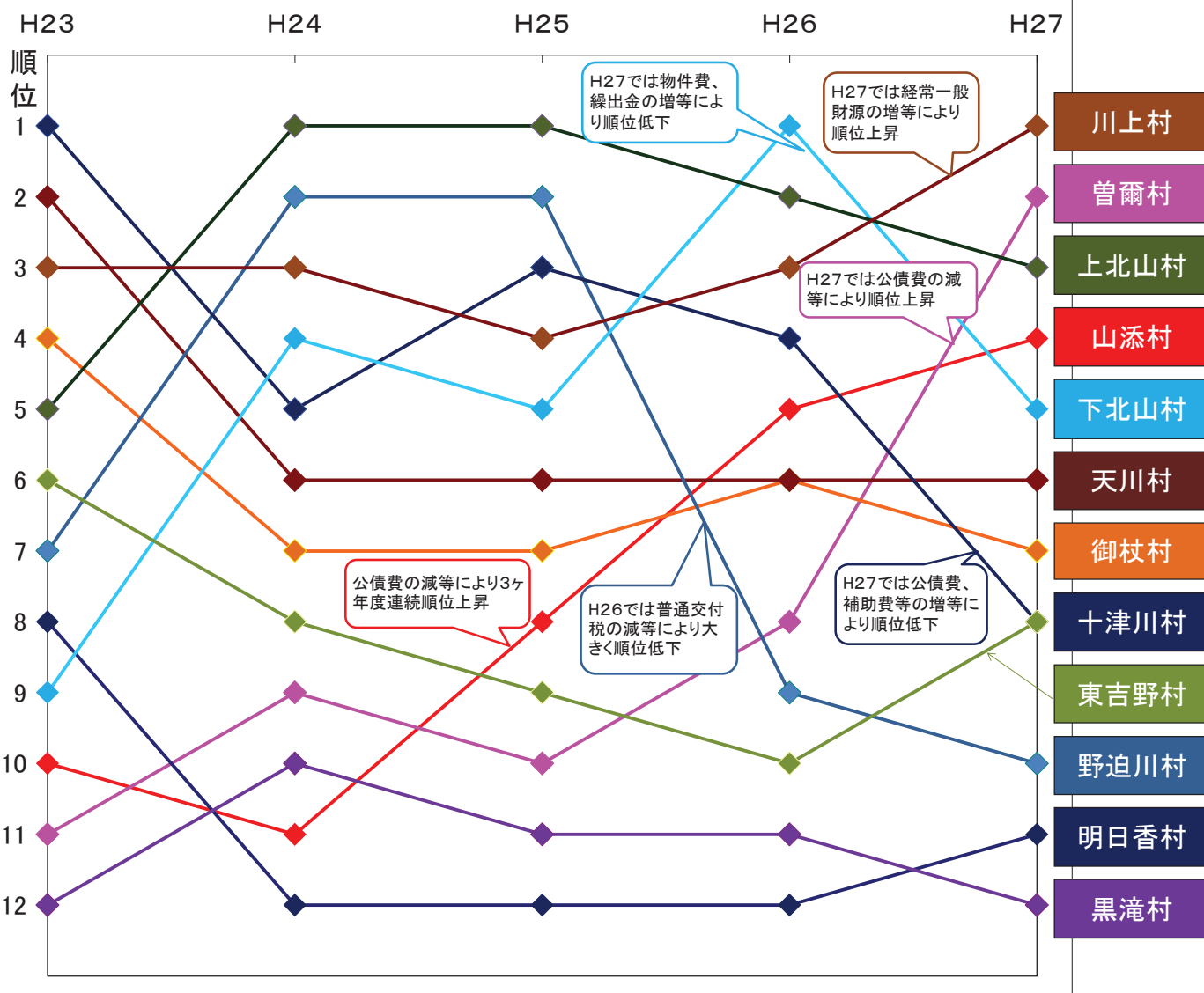
○県内15町では、下市町が公債費の減等により、吉野町は補助費の減等により、大きく順位上昇。  
○平群町は物件費、人件費の増等により大きく順位低下。



団体名	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位	H27	順位
平群町	93.5	11	95.3	11	95.6	12	94.4	8	93.6	13
三郷町	87.3	2	91.0	6	87.9	3	87.2	1	85.1	3
斑鳩町	92.3	8	95.3	11	95.2	11	98.0	11	94.2	14
安堵町	94.7	14	91.3	7	90.5	6	91.7	5	88.8	6
川西町	86.9	1	81.4	1	83.3	1	87.4	2	83.8	2
三宅町	93.1	10	88.6	3	87.5	2	90.6	3	82.8	1
田原本町	88.6	4	89.5	4	89.8	5	93.0	6	91.6	7
高取町	89.6	6	92.1	8	92.7	8	93.5	7	88.7	5
上牧町	88.9	5	89.9	5	91.4	7	97.2	10	93.2	11
王寺町	94.4	13	92.9	9	93.6	9	94.4	8	92.0	8
広陵町	93.1	9	93.1	10	94.2	10	99.6	15	93.2	11
河合町	96.8	15	98.7	15	96.1	13	99.0	14	99.6	15
吉野町	93.8	12	95.5	13	97.0	14	98.2	12	93.0	10
大淀町	87.9	3	87.2	2	89.1	4	91	4	87.6	4
下市町	91.6	7	96.6	14	98.8	15	98.9	13	92.3	9

### 県内12村の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

○県内12村では曾爾村が公債費の減等により大きく順位上昇。  
 ○下北山村は、物件費、繰出金の増等により、十津川村は公債費、補助費等の増等により大きく順位低下。



団体名	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位	H27	順位
山 添 村	92.5	10	96.2	11	89.0	8	87.6	5	79.8	4
曾 爾 村	93.6	11	92.2	9	90.4	10	91.3	8	75.8	2
御 杖 村	87.7	4	86.0	7	87.6	7	89.6	6	84.2	7
明日香村	90.6	8	98.5	12	97.0	12	97.2	12	91.9	11
黒 滝 村	99.3	12	93.3	10	95.1	11	96.5	11	95.7	12
天 川 村	84.9	2	81.9	6	82.5	6	89.6	6	83.2	6
野 迫 川 村	89.4	7	68.8	2	76.2	2	92.3	9	90.8	10
十 津 川 村	78.7	1	81.0	5	76.9	3	86.8	4	85.6	8
下 北 山 村	91.7	9	80.4	4	78.4	5	83.3	1	79.9	5
上 北 山 村	88.5	5	67.8	1	70.3	1	84.2	2	77.1	3
川 上 村	86.8	3	78.7	3	77.3	4	85.3	3	73.4	1
東 吉 野 村	88.8	6	89.7	8	89.9	9	94.3	10	85.6	8